

持続可能な社会と事業の両立に向けて

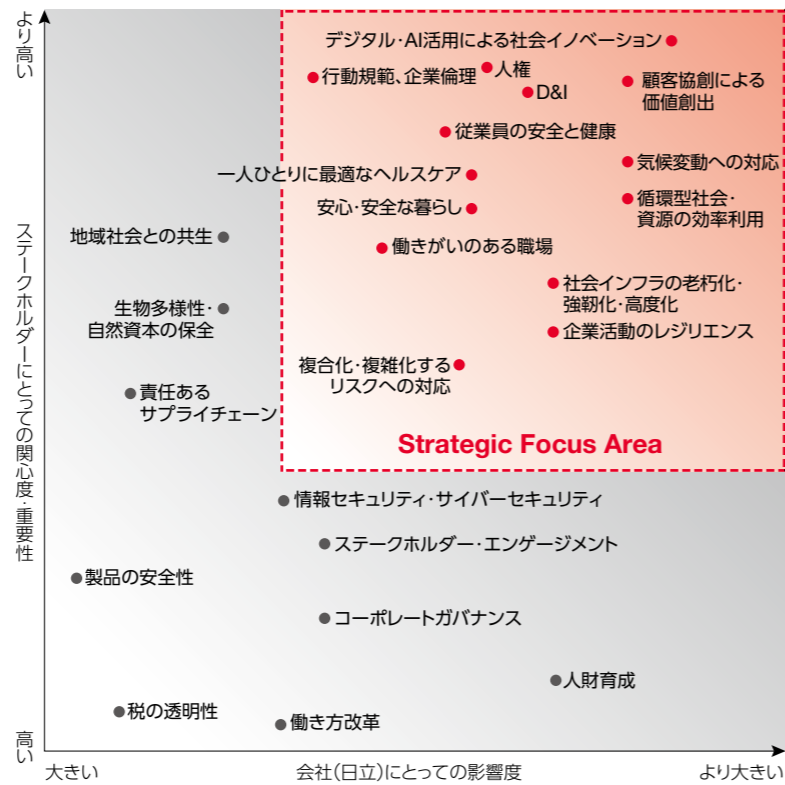
日立は、サステナビリティを事業戦略の中核に組み入れた「サステナブル経営」を実践しており、2021年度を最終年度とする「2021中期経営計画」においても、社会イノベーション事業のグローバルリーダーとして持続可能な社会を実現することを目標に掲げました。その目標の実現に向け、「環境」「レジリエンス」「安心・安全」の3つの領域に注力し、社会と企業経営の課題解決に貢献し、人々のQoLならびに顧客企業の価値の向上を図っていきます。これまで培ってきた事業領域の知見と、世界中のパートナーとの協創により、Lumadaを活用した社会イノベーション事業を拡大していきます。



Strategic Focus Area

日立は、2030年の社会・会社のあるべき姿を見据え、重要と考える領域での価値創出に注力して取り組みます。

今回、日立がめざす「人々のQoLの向上」「顧客企業の価値の向上」の実現に向け、社会と日立の経営がサステナブルであるために、会社(日立)にとっての影響度と、ステークホルダーの皆さまにとっての関心度・重要性を踏まえた注力施策をマッピングしました。中でも、特に優先的に取り組むべき施策を、「Strategic Focus Area」として抽出しました。



サステナビリティ戦略推進体制

日立製作所は、執行役員兼CEO東原敏昭をはじめとする経営会議のメンバーに加え、各ビジネスユニット(BU)のCEOをメンバーとする「サステナビリティ戦略会議」において、サステナビリティに関する重要な方針や施策について審議・決定するとともに、進捗や成果を共有し、さらなる改善や新たな取り組みにつなげています。

同会議のもとに設置された各BUのサステナビリティ戦略推進担当者(事業推進部門長クラス)から構成される「サステナビリティ推進委員会」は、ESG(環境・社会・ガバナンス)を重視した長期的な企業戦略を策定して、SDGsの目標達成への貢献も含めたサステナビリティに関する具体的な施策を推進しています。

Strategic Focus Areaの課題認識・戦略

Strategic Focus Area	課題認識・戦略	施策・KPI	貢献するSDGs
デジタル・AI活用による社会イノベーション	世界では、気候変動や資源不足、高齢化・都市化などに加え、COVID-19の世界的流行で、社会・経済が劇的に変化しました。日立は、こうした変化に直面する社会・お客さまが抱える課題に応えるソリューションを提供することで、新たな価値を創出します。これが、日立の社会イノベーション事業です。こうした変化に迅速かつ効率的に対応するためには、お客さまやパートナーとの協創が不可欠です。協創により、Lumadaを活用した社会イノベーションを拡大することで、日立は、持続可能な社会の実現に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> ● Lumada事業の拡大 ▶P.28, P.36 ● Lumada事業売上収益、調整後営業利益の拡大 ● Lumada Solution Hub の活用 ● Lumada拡大を支える人財と技術の強化 ● デジタル人財の育成、多様な人財の活躍(D&I) ● 教育機会の創出 ● 研究開発の強化 ● 協創の価値・イノベーションの拡大、社内外への浸透 ● 協創拠点の拡大 ● Lumadaアライアンスプログラムのパートナー拡大 ● 日立グループ・アイデンティティの浸透・理解向上 	
顧客協創による価値創出			
気候変動への対応	サステナブルな社会の実現のため、気候変動や循環型社会・資源の効率利用に取り組むことは、社会イノベーション事業を提供する日立の使命です。日立は、特に喫緊の課題である気候変動問題に対し、脱炭素化の実現に向けたソリューションを拡大します。また、2030年度までに自社内におけるカーボンニュートラル、2050年度までにバリューチェーンを通じてカーボンニュートラル達成という目標実現に向け、環境価値を創出するリーディングカンパニーとして、取り組みを一層加速しています。	<ul style="list-style-type: none"> ● 「日立環境イノベーション2050」の推進 ▶P.34 ● 環境貢献事業の拡大 ● 事業所のCO₂排出量削減率 ● 製品・サービスのCO₂排出量削減率 ● 水使用量原単位改善率 ● 廃棄物有価物発生量原単位改善率 ● 5セクターおよびオートモティブシステム事業の価値創造ストーリー ▶P.52-69 	
循環型社会・資源の効率利用			
一人ひとりに最適なヘルスケア	高齢化・都市化・デジタル化が急速に進む社会において、人々が快適で活動的な生活を送り、また、安心・安全な暮らしを実現することが求められています。日立は、一人ひとりに最適なヘルスケアや、人々の安心・安全な暮らしを支える都市づくりを実現するソリューションを提供します。特にヘルスケア領域においては、未病段階の予防から検査、診断・治療、介護支援までを見据えたソリューション開発・提供により、人生100年時代を迎える社会を支えます。	<ul style="list-style-type: none"> ● ヘルスケア事業の拡大 ▶P.64 ● 安心・安全な移動、暮らしを支える事業の拡大 ▶P.61, P.64 ● モビリティセクター、ライフセクターの価値創造ストーリー 	
安心・安全な暮らし			
社会インフラの老朽化・強靭化・高度化	自然災害、パンデミック、サイバー攻撃などの不確実性の高いリスクが常に存在する社会・経済において、公共サービスや企業活動が、災害時にも迅速に回復できること、また、急速に進むデジタル化に対応した公共サービスの恩恵を誰もが等しく受けられる社会の実現は急務です。日立は、社会・企業活動の強靭性を高め、リスクに即応することのできるシステム・ソリューション提供を通じ、レジリエントな社会を実現します。	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共インフラ・サービスを支える事業の拡大 ● 金融、産業、ロジスティクス、サイバーセキュリティなど企業活動を支える事業の拡大 ● 5セクターおよびオートモティブシステム事業の価値創造ストーリー ▶P.52-69 	
企業活動のレジリエンス			
人権		<ul style="list-style-type: none"> ● 人権尊重の遵守 ▶P.79 ● 研修受講率 ● サプライチェーンへの監査 	
従業員の安全と健康	日立の社会イノベーション事業は、いきいきとした社会・人々の生活を実現するものです。日立は、「安全と健康を守ることは全てに優先する」ことを基本理念としながら、自社内における多様な人財の活躍と職場づくりを推進しています。また、バリューチェーンを支える人財や協創パートナーなど、あらゆる人財が尊重され、安心・安全に働くことのできる社会の実現に貢献します。多様な人財が活躍することで、日立とパートナーの活発な協創を推進し、社会イノベーション事業による新たな価値の提供を加速させていきます。	<ul style="list-style-type: none"> ● 労働安全衛生の徹底 ▶P.78 ● 災害件数の低減 ● 健康推進 ● ダイバーシティ&インクルージョンの推進 ▶P.42 ● 役員に占める外国人・女性比率 ● 外国人・女性従業員数 ● 女性管理職数 ● 障がい者雇用者数 ● 従業員にとって働きがいのある・働きやすい職場環境の整備・促進 ▶P.42 ● グローバル従業員サーベイの参加率/エンゲージメント指標 ● 教育機会の創出 ● 人財マネジメント施策を通じた自律的キャリア支援 ● リモートワーク環境の整備 ● 社会貢献の促進 	
ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)			
働きがいのある職場			
行動規範・企業倫理	グローバル規模で日立の事業・パートナーが急拡大する中、企業としてのコンプライアンス、地政学リスク、事業リスクマネジメントは、信頼性の高い事業活動を継続するために欠かせません。日立は、持続的な成長のため、特に、行動規範の共有、法令遵守の徹底、リスクマネジメントの推進を課題と認識し、さらなるコーポレートガバナンス機能の強化に取り組んでいます。	<ul style="list-style-type: none"> ● コンプライアンスの遵守 ▶P.81 ● リスクマネジメントシステムの構築・運用 ● リスクと機会への対応 ▶P.70 	
複合化・複雑化するリスクへの対応			